

# ようこそ! 病院実習

耳原総合病院では、基幹型臨床研修指定病院としてこれまでも臨床研修に力を入れて取り組んできました。卒後の研修に向けて動き出すとする6年生はもちろんですが、耳原総合病院では、1～5年生の医学生もたくさん実習に来られています。「大学の授業のモチベーションがあがらない」「先輩から実習を勧められた」など参加動機は様々です。実際の医療現場に触れることでどんな医師になりたいか、どんな医療を目指すのかを具体的にイメージできる機会になればと考えています。



小児科外来にて、学生さんに説明する中川医師



研修医とともに病室へ



ベッドサイドで研修医と診察の体験をします



小児科病棟での実習

## ～実習感想文～

- 出産は初めて見たのですが、すごく感動しました。付き添ってくださった先生がとても親切に教えてくださりいい経験になりました。ありがとうございます。(1年生)
- 元々子供が好きで小児科医に興味があったのもっと知りたいと思いました。大学で小児科を勉強した後また実習に来たいです。(4年生)

- 患者さんによって「病気を治療してほしい」というわけではなく様々なニーズがあり、いかに引き出すかが医師のコミュニケーション能力にかかっていると感じました。5年後にあんなふうになれるようにするために今の自分にできることは何かを考えさせられました。(2年生)
- 市中病院では研修医が孤立して全て任せられると聞いたことがありますが、この病院はそんなことは無い

と感じました。初期研修病院見学の着目すべき点までアドバイスいただけてとてもためになりました。(5年生)

● (大学) 病院実習でとてもできないような深い考察をさせていただいて、とても参考になりました。実習では病名が判明している段階で受け持ちとなる事が多く、臨床的な思考プロセスを学ぶ大変良い場を提供していただけたのだと思います。(5年生)



指導医からのフィードバックを聞きます。これが大事です



研修医のアドバイスのもとカンファレンスに参加

# 耳原でまなぶ

4月には臨床現場で役立つ知識・技術の習得を目指して臨床セミナーを開催しています。参加学生は研修医とともに患者様のベッドサイドに行き、問診、診察から鑑別診断、カンファレンスへと研修医体験をします。その他ミニレクチャーを、クイズを交えながら参加者全員で学びます。学生からは、研修医の本音を聞ける機会ということもあり好評を得ています。

また1月には、4年生を対象にしたオスキー対策講座を開催しました。初期研修医が神経診察などのレクチャーを行いました。こちらも実際のオスキー試験に役立ったと感想をいただき、参加者数も毎年増えています。

## ～セミナー感想文～

- 症例を割り当てられ、問診身体所見から診断へ、自分達で考えたことが印象的。プレゼンすることの難しさも知った。(6年生)
- 他大学の人と一緒にいることで、自分の大学以外の人の考え方や情報を知ることができ、改めて自分の考え方を振り返ることができました。(6年生)
- 感染症レクチャーが印象的。具体的な抗菌薬の選び方をもっと知りたい。何年かぶりにグラム染色ができて良かったです。(5年生)



参加学生とともに症例検討。他大学の学生もいるので刺激になります



オスキー対策講座の様子。1年目の研修医がアドバイスします



臨床セミナーの様子。研修医による読影レクチャー



耳原医学対ニュース

# 高校生の医師体験

毎年、府内の高校生が医療インターンシップに耳原総合病院を訪れます。白衣に着替えた高校生は、皆顔が引き締まり真剣な面持ちです。グループに分かれての病院見学や採血体験をおこなった後は、研修医への質問・相談タイムを設けています。

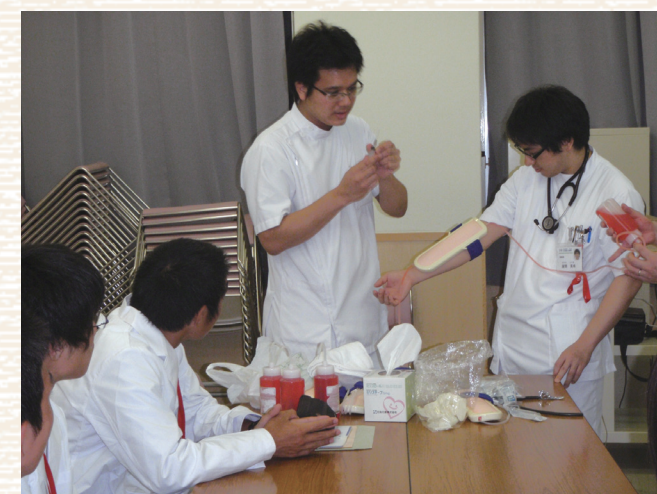
高校生が医療現場に触れるおそらく初めての場となります。勉強に追われがちな医学部を目指す高校生が、耳原総合病院での体験で、今一度医師を目指す動機を見つめなおす機会になればと願っています。



昨年の高校生医療インターンシップの様子



研修医に付き添われ患者様のベッドへ



採血体験の様子。模擬採血キットを使います

## ～高校生の感想文～

- 今までドラマや漫画でしか知らなかった世界なので、自分の医療に対する考えがより広がりました。また、大人の人が皆ビビリせず優しくなった点も少し驚きがありました。

- 医者の仕事に少し興味があってこのイベントに参加しました。おおよっぱな私には向いてないかも思いました。でもやっぱり医療の仕事に就きたいので、勉強をがんばって将来はなんにでもなれるようにしておきます。この経験をムダにはしません!

- 病気を治すだけでなく、痛みを和らげたり、健康を増進したり、色々なことに取り組んでいることが分かりました。小児科医になりたくなりました。



## 奨学金制度のご案内

耳原総合病院が所属する大阪民医連では、医学生対象の奨学金制度を設けています。大学卒業後、大阪民医連に所属する病院・診療所に就職し、ともに医療活動をすすめる意志のある医学生に対して、多忙な学生生活の中、勉学費用や文献の購入など充実した学生生活が送られるようにと設けられた制度です。

民医連の病院で働く職員との交流企画や地域をフィールドとした学習企画など、医療に関わらない豊富な体験を他大学の学生とともに過ごしています。詳細は耳原総合病院医局事務課医学生担当まで、お問い合わせください。資料を送付させていただきます。

資料